

つれづれ

平成28年6月23日(木)

よりよい社会をめざして



昨日、第24回参院選が公示されました。今回の選挙では、経済政策、安全保障、憲法改正などが争点の柱になるでしょう。

これらの争点について、各政党はそれぞれの政策をアピールし、国民の支持を求めてしのぎを削り合います。

一党独裁制の国では、暴君が支配の座につけば、国家権力の暴走が心配されます。国民はその犠牲になります。

民主主義国家である日本は、複数政党制をとっています。

複数政党が互いを牽制したり、場合によっては協力しあうことで、国民のための政治を行う努力をしています。

余談にはなりますが、小学校6年生の社会で習ったように、日本では国の権力を1カ所に集中させないようにしています。三権分立というしくみです。これにより、司法権（裁判所）、立法権（国会）、行政権（内閣）が互いを監視することで、公平公正が保たれ、国家権力の暴走を防いでいます。

この度公職選挙法の改正で、選挙権年齢が20歳以上から18歳以上に引き下げられました。これにより、約240万人の新有権者が生まれることになりました。

各政党は新有権者の取り込みをねらい、あの手この手で新有権者へのアピール合戦を展開しています。SNSの活用は、政党にとって不可欠な手段となっています。また、ワークショップを開き、若者が政治家と直接話をする機会をつくり、自党の政策をアピールしている政党もあるようです。

このような活動が、若者に政治への関心を持たせ、よりよい社会づくりへの参画を促すことは望ましいことです。

中学生である皆さんは、あと数年で選挙権を持つことになります。その時に、国民として正しい判断と選択ができるようになっていなければなりません。そのためには、今から政治や経済などの社会の動きに関心を持ち、自分の頭で考える習慣をつけておく必要があります。ぜひとも、新聞やテレビなどで社会の動きを学んだり、学校での学習にしっかり取り組み、より多くの知識や考える力をつけていってください。

公示：公の機関が広く一般に示すこと。

ワークショップ：体験型講座

<保護者の皆様へ>

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

大阪市教育委員会 天下茶屋中学校で検索



QR code

天下茶屋中学校HP → <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j762750>